

2018年6月吉日

地域農林経済学会 会員各位

地域農林経済学会近畿支部  
和歌山大学 辻和良

## 2018 年度地域農林経済学会近畿支部大会のご案内

拝啓 初夏の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要領で、2018 年度地域農林経済学会近畿支部大会を開催いたします。今年度は、恒例の若手研究者による個別報告に加えて、地域セッション「農業体験農園の可能性を考える」を開催いたします。会員の皆様には、若手研究者の育成という観点からも積極的なご参加をお願い申し上げます。本支部大会は、非会員の方にも開放しておりますので、お誘いあわせてご来場下さい。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

敬具

### 記

日 時：2018 年 7 月 28 日（土）13：00～17：00（開場は 12：30～）

場 所：岸和田市立浪切ホール 4 階研修室 1

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 <https://namikiri.jp/access/index.html>

\*南海本線岸和田駅から徒歩約 12 分

参加費：無料（懇親会費は別途）

問合せ先：和歌山大学食農総合研究所 辻和良

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 TEL: 073-457-7750 FAX: 073-457-7751

E-mail : tsujik@center.wakayama-u.ac.jp (@は半角に修正して下さい)

会場設営の関係で、お手数ですが、参加ご希望の方は、7/23（月）午後5時までに上記問合せ先までご連絡下さい。その際、懇親会への参加につきましてもお知らせ下さい。

\* 和歌山大学食農総合研究所「都市農村共生ユニット研究セミナー」との共同開催です。

以上

## 【2018 年度地域農林経済学会近畿支部大会プログラム】

12 : 30～ 開場, 受付

13 : 00～13 : 10 開会の挨拶 (福井 清一 会長)

### 【地域セッション】 農業体験農園の可能性を考える

13 : 10～13 : 15 セッション開会の挨拶・趣旨説明 (岸上 光克, 和歌山大学)

13 : 15～13 : 40 都市農業に果たす農業体験農園の役割と課題 (仮題)  
報告者: 藤井 至 (和歌山大学)

13 : 40～14 : 00 農業体験農園に対する JA わかやまの取り組み  
報告者: 池田 信義 (JA わかやま)

14 : 00～14 : 20 議 論

14 : 20～14 : 30 休 憩

### 【個別報告】 ※研究報告は、報告 20 分・質疑 10 分

14 : 30～15 : 00 離島産地における農協の役割と社会的意義に関する研究  
報告者: 大坪 史人 (広島大学大学院 生物圏科学研究科)  
座 長: 岸上 光克 (和歌山大学)

15 : 00～15 : 30 公設試と外部専門家チームの連携による新たな日本酒の開発  
—ネットワーク研究の視座からの検証—  
報告者: 西濱 健太郎 (広島県立総合技術研究所農業技術センター)  
座 長: 辻 和良 (和歌山大学)

15 : 30～15 : 40 休 憩

15 : 40～16 : 10 農業分野における障害者就労のための作業環境整備の検討  
報告者: 中本 英理 (農研機構・西日本農業研究センター)  
座 長: 中塚 雅也 (神戸大学)

16 : 10～16 : 40 大規模稲作経営の畦畔管理に関する会計学的考察  
—畦畔管理手法の分類と市場形成の可能性—  
報告者: 木原 奈穂子 (神戸大学大学院農学研究科)  
座 長: 大西 敏夫 (大阪商業大学)

16:40~17:00 閉会の挨拶  
かたづけ

終了後 懇親会（希望者） ふるってご参加ください。  
場所：未定  
会費：3,500円程度（学生は2,500円）、学生報告者は無料

### 会場：岸和田市立浪切ホールへのアクセス

